令和8年度 進捗管理　①包括的な措置

資料６

※ 黄色帯＝文化財保存活用課が主管　／　R8列「○」＝令和8年度に取組のある事業

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
◆ 未把握の文化財に関する調査の推進									
1	文化財に関する計画的な把握調査の実施	文化財保存活用課	○	○	○	○		山林寺院等の調査を府立大学や地元団体（丹後ひくやま会）とともに実施中。	外部資金(大学研究費)、国庫補助金、市費
◆ 調査成果が活用しやすい環境づくり									
2	調査成果の保存・管理等の推進	文化財保存活用課			○	○		京都ミュージアム連携デジタルアーカイブ事業により震災復興建築や断層の３D化、震災資料のデジタル化を進めた。	国庫補助金、市費
◆ 文化財保護法や条例に基づく着実な文化財の保護									
3	文化財指定等の推進	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	新規文化財指定に向けた検討を、文化財保護審議会に諮りながら進める。令和8年度の文化財保護審議会は、7月、2月頃の計2回開催する。	市費
4	「（仮称）京丹後市登録文化財制度」の創設の検討	文化財保存活用課	○	○	―	―	－	R6年度で検討終了。（京丹後市では市民遺産制度が発足しているため、市民緯線制度で目的を達成していく）	市費
5	京都府文化財保護指導委員による巡視	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	京都府文化財保護指導委員による巡視について、府との連絡調整や助言等の支援を行う。	府費
◆ 文化財の保存に係る財源の確保									
6	「（仮称）京丹後市文化財保護基金」の設立の検討	文化財保存活用課	○	―	―	―	－	R5年設立	市費、寄付金等
6	「（仮称）京丹後市文化財保護基金」の設立の検討	ふるさと応援推進課	○	―	―	―	―	R5年設立	市費、寄付金等
◆ 指定等文化財の適切な修理・保全									
7	京丹後市指定文化財等補助金	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	京丹後市指定文化財等補助金を運用する。	市費
◆ 適切な保存・管理のための資料内容の整理、市内資料館の機能の充実									
8	収蔵品目録の整備と収蔵施設の集約	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	資料館その他の収蔵資料について、台帳（目録）作成を進めるとともに、再整理及び集約を図る。	国庫補助金、市費
◆ 多様な媒体を活用した情報発信									
9	広報、ケーブルテレビでの文化財の紹介	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	各種文化財セミナーやイベントなどの広報京丹後への掲載、市HP、Facebook、LINE、京丹後歴史文化めぐりマップへの掲載及び適時ケーブルテレビや報道各社に情報提供を行う。	市費

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
9	広報、ケーブルテレビでの文化財の紹介	秘書広報広聴課	○	○	○	○	○	文化財保存活用課と協議の上、広報京丹後に関連記事を掲載する	市費
9	広報、ケーブルテレビでの文化財の紹介	デジタル戦略課	○	○	○	○	○	コミュニティチャンネルで番組制作・放送を行う（週間ニュース、特番等）	市費
10	**特別展示や企画展示の開催**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		市立丹後古代の里資料館及び郷土資料館において、企画展示や各種イベントを開催し、普及啓発を進める。企画展：丹後古代の里資料館　２回　　郷土資料館　２回イベント：両館ともに夏休みイベント、資料館まつり各１回	市費
11	**「京丹後市歴史文化物語」の発信**	**文化財保存活用課**	○	―	―	―	―	R5年に一般向けパンフレット作成済み。	国庫補助金、市費
12	**文化財に関する情報や調査成果の発信**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	「京丹後市歴史文化めぐりマップ」を活用し、歴史文化に関する情報を市内外に向けて発信する。	国庫補助金、市費
12	文化財に関する情報や調査成果の発信	生涯学習課	○	○	○	○	○	市立図書館で市内の文化財等の郷土資料に関する特別展示の実施	国庫補助金、市費
13	**文化財活用実践セミナーの開催**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		大学との共同研究（府大ACTR等）や資料館の企画展示に関連し、京丹後市文化財セミナーを開催する。	国庫補助金、市費
◆ 文化財の観光活用に向けた整備の推進									
14	文化財に関連するエコツーリズムの推進	健康推進課							国庫補助金、府補助金、市費
14	文化財に関連するエコツーリズムの推進	観光振興課	○	○	○	○	○	①ジオサイトを活用したトレイルツアーの造成、販売を行う。（観光公社）②長寿のまちという特色をいかした京丹後ヘルスツーリズムの造成、販売を行う。（観光公社）③日本海三大古墳スタンプラリーを実施する。（観光公社）	国庫補助金、府補助金、市費
14	文化財に関連するエコツーリズムの推進	生涯学習課	○	○	○	○	○	ジオパーク等自然の中でカヌー競技等の各種スポーツ大会を実施	国庫補助金、府補助金、市費
14	文化財に関連するエコツーリズムの推進	商工振興課	○	○	○	○		地場産業である丹後ちりめん、機械金属業を中心としたモノづくりや、農業、宿泊施設など様々な現場を開放し、普段見ることができない現場や職人のワザ、こだわり、さらには受け入れる気持ちなどもオープンにする「地域一体型オープンファクトリー」を実施。	国庫補助金
14	文化財に関連するエコツーリズムの推進	長寿福祉課							国庫補助金、府補助金、市費
14	文化財に関連するエコツーリズムの推進	農業振興課	○	―	―	―	―	令和５年度で事業完了し、令和７年度は取組なし	国庫補助金、府補助金、市費

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
14	文化財に関連するエコツーリズムの推進	海業水産課	○	○	○	○		間人漁港周辺での水産イベント「まるっぽ間人か～にバル」開催を支援。京丹後市漁業振興対策事業補助金（水産イベント補助金）300千円。	市費
14	**文化財に関連するエコツーリズムの推進**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	史跡ツーリズムについて、関係課・機関と調整を図りながら検討を進める。	国庫補助金、府補助金、市費
15	文化財のユニバーサルデザイン化の推進	観光振興課	○	○					国庫補助金、市費
15	**文化財のユニバーサルデザイン化の推進**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	市内の史跡解説案内の更新にあたり、ユニバーサルデザイン化を実施する。	国庫補助金、市費
◆ 本市の多様な自然や歴史文化を活かした「教育旅行」の誘致推進									
16	文化財をテーマとした教育旅行の推進	観光振興課	○	○	○	○	○	ジオパークや琴引浜の環境学習等を題材にした教育旅行の誘致に向けたモニターツアーの実施や、旅行会社商談会への出展を行う。（観光公社）	市費
16	文化財をテーマとした教育旅行の推進	商工振興課							市費
16	文化財をテーマとした教育旅行の推進	生活環境課							市費
16	**文化財をテーマとした教育旅行の推進**	**文化財保存活用課**						R9年度以降検討予定。	市費
◆ 若年層を中心とした市民の興味関心の向上									
17	「丹後学」と連携した歴史文化学習	市内小・中（指導室）	○	○	○	○	○	各校が令和７年度に改訂した「丹後学カリキュラム」を活用し、丹後学の目標が達成できるよう、探究コーディネーターとの連携のもと、市内の小中学校への伴走支援を行う。	市費
17	「丹後学」と連携した歴史文化学習	市内保・幼（子ども未来課）	○	○	○	○		本市の保幼小中一貫教育の大きな特色である「丹後学」が、子どもたちの主体的な活動を通して、知識の高まりや探求心が生み出されるものとなるよう、各学園でモデルカリキュラムに沿った郷土愛の育成を行う。	市費
17	**「丹後学」と連携した歴史文化学習**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		各小中学校に配布・配信した『京丹後市地域学習副読本』を効果的に活用してもらうため、各学校に対し活用方法などを提示する。	市費

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
18	社会科副読本による歴史文化学習	学校教育課	○	○	○	○	○	令和8年度の市内の小学校３年生に配付する（３・４年生時に活用）社会科副読本を改訂。本市の地形地質、遺跡、ものづくり、伝統文化を掲載するとともに、資料掲載の工夫や学習のめあてや学習内の紹介のほか、データ・資料の最新化及び社会科での学習内容と関連する本市の状況をより探究的に学べる資料とする。	市費
18	**社会科副読本による歴史文化学習**	**文化財保存活用課**	○	○	－	－	－	R6年度で完了。	市費
19	**文化財セミナー等の開催**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	大学との共同研究（府大ACTR等）や資料館の企画展示に関連し、京丹後市文化財セミナーを開催する。	市費
◆ 地域の歴史文化を語れる人材、読み解ける人材の育成									
20	**「（仮称）地域史料講座」「（仮称）ガイド養成講座」の実施と人材育成**	**文化財保存活用課**		○	○	○	○	「京丹後の歴史文化を学ぶ」講座を開催し、ガイド養成に資する人材育成を進める。	市費
21	歴史文化の魅力を普及・発信する人材育成	生活環境課							国庫補助金、市費
21	歴史文化の魅力を普及・発信する人材育成	農業振興課	○	○	○	○	○	就農初期の経営基盤の確立を支援し、担い手の確保・定着を図る。（農業経営開始資金、経営発展支援事業）	国庫補助金、市費
21	歴史文化の魅力を普及・発信する人材育成	観光振興課	○	○	○	○	○	ジオパークガイドの養成やスキルアップを図る講座を実施する。	国庫補助金、市費
21	**歴史文化の魅力を普及・発信する人材育成**	**文化財保存活用課**			○	○	○	「京丹後の歴史文化を学ぶ」講座をガイド育成講座も兼ねた内容として開催し、ガイド団体に対しても別途開催する。	国庫補助金、市費
22	**歴史文化を活かしたコンテンツプロデュースする人材の育成**	**文化財保存活用課**							国庫補助金、市費
◆ 京丹後市の庁内連携、活動団体間の連携の強化									
23	**文化財保存活用地域計画推進協議会の設置・運営**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	文化財保存活用計画推進協議会を5回開催し、進捗状況の管理を行うとともに次期計画の検討を行う。	市費
◆ 各区の歴史文化の着実な継承に向けた体制づくり									
24	**「（仮称）京丹後市市民遺産会議」の発足**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	「京丹後市市民遺産会議」を3回程度開催し、「京丹後市市民遺産」の認定を目指す。年度目標：３件	市費
25	「新たな地域コミュニティ組織」との連携	地域コミュニティ・にぎわいづくり課	○	○	○	○	○	令和７年度より市内全34地域において新たな地域コミュニティ組織が本稼働した。引き続き、交付金等により地域が主体的に行う地域課題解決に向けた取り組みを支援していく。	市費

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
25	**「新たな地域コミュニティ組織」との連携**	**文化財保存活用課**							市費
◆ 他地域・他機関と連携した歴史文化を活かしたまちづくりの展開									
26	**文化財に関する計画的な把握調査の体制づくり**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	主に府大ACTR等の事業を通じて、大学・学校・市民と持続的に連携できる体制の構築を進める。	市費
27	海の京都ＤＭＯによる「海の京都観光圏」の取組推進	観光振興課	○	○	○	○	○	海の京都ＤＭＯが進める文化観光の取組を支援する。	市費
28	豊岡ＤＭＯその他広域観光団体との連携	観光振興課	○	○	○	○	○	北近畿広域観光連盟が進める教育旅行や団体旅行誘致に向けた取組を支援する。	市費

令和8年度 進捗管理　②防災・防犯に関する措置

※ 黄色帯＝文化財保存活用課が主管　／　R8列「○」＝令和8年度に取組のある事業

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
◆ 文化財の災害予防対策・防犯対策の拡充									
防-1	**防災・防犯設備の設置**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		文化財所有者との協議等、連絡を取る際に、防災・防犯設備の状況について必要な助言を行う。	一部に府補助、市補助
防-1	防災・防犯設備の設置	消防本部予防課	○	○	○	○		立入検査時（年１回）、必要な消防用設備等が未設置の場合、設置を促す。	一部に府補助、市補助
防-2	既設の防災・防犯設備の定期的な点検	消防本部予防課	○	○	○	○		立入検査時（年１回）、消防用設備等が定期点検未実施の場合、点検を促す。	一部に府補助、市補助
防-2	**既設の防災・防犯設備の定期的な点検**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		「文化財防火デー」に合わせて、文化財所有者への立入検査を実施し、既設の防災・防犯設備について点検を行う。立入検査：１月予定	一部に府補助、市補助
防-3	「文化財防火運動」の実施	消防本部予防課	○	○	○	○		文化財防火運動を中心に立入検査を予定。文化財所有者へ周知と協力依頼を図る。	市費
防-3	**「文化財防火運動」の実施**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		「文化財防火デー」に合わせて、文化財防火訓練および文化財所有者への消防署とともに立入検査を実施する。あわせて、ぽsjたーを配布ふるなど周知・啓発を進める。	市費
◆ 災害発生時の対応の明確化									
防-4	**文化財避難計画の作成**	**文化財保存活用課**						令和９年度以降検討予定	市費
防-4	文化財避難計画の作成	消防本部予防課							市費
防-4	文化財避難計画の作成	総務防災課	○						市費
防-5	**文化財災害対応マニュアルの作成**	**文化財保存活用課**						令和９年度以降検討予定	市費
防-5	文化財災害対応マニュアルの作成	消防本部予防課							市費
防-5	文化財災害対応マニュアルの作成	総務防災課	○						市費
防-6	消防本部との連携	消防本部予防課	○	○	○	○		文化財保存活用課と文化財リストの共有を図る。	市費

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
防-6	**消防本部との連携**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		本計画の防災防犯に関する取組を進めるにあたり、消防本部との協議等の場を作り情報共有に努める。	市費
◆ 日常的な防犯パトロールの導入									
防-7	**文化財パトロールの実施**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		京都府文化財保護指導委員による市内の文化財の巡視を実施。	市費
防-7	文化財パトロールの実施	総務防災課							市費

令和8年度 進捗管理　③関連文化財群ごとの措置

※ 黄色帯＝文化財保存活用課が主管　／　R8列「○」＝令和8年度に取組のある事業

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
◆ 自然景観の適切な保全									
1-1-1	自然景観・環境の保全	観光振興課	○	○	○	○	○	代表的なジオサイト「立岩」周辺の海岸清掃や「大成古墳群」周辺の草刈業務等を実施する。	国庫補助金
1-1-1	**自然景観・環境の保全**	**文化財保存活用課**							国庫補助金
1-1-2	海岸漂着物対策推進事業	生活環境課	○	○	○	○	○	市内17海岸で海岸漂着物の回収及び処理の実施予定9月に「水をつなぐクリーン作戦」、市内中学生に向けた環境学習の実施する。	府補助金
1-1-2	海岸漂着物対策推進事業	観光振興課	○	○	○	○	○	地元団体等に委託し、１５の砂浜海岸の海岸清掃を行う。海ごみの現状や効率的な海岸清掃の方法を伝える「海岸清掃セミナー」を実施する。一斉クリーン作戦やワンハンドビーチクリーンを実施し、市民等へ砂浜海岸の価値と保全の大切さを啓発する。	府補助金
1-1-2	海岸漂着物対策推進事業	管理課	○	○	○	○	○	海岸漂着物の回収及び処理	府補助金
1-1-3	美しいふるさとづくり推進事業	生活環境課	○	○	○	○	○	鳴き砂で知られる「琴引浜」で、環境保全意識の普及・啓発や地域のにぎわいづくりを目的に開催される「はだしのコンサート」の経費に対して補助を行う。開催前にビーチクリーンアップ活動を行い、コンサートは、６月７日に開催される予定	市費
1-1-4	**資料館等指定管理施設運営事業**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	指定管理者への相談・指導を適切に行うことで、指定管理施設である琴引浜鳴き砂文化館の状況管理を行う。	市費
1-1-5	ジオパーク関連施設のネットワーク化	観光振興課	○	○	○	○	○	山陰海岸ジオパークの拠点施設である道の駅てんきてんき丹後内の情報センターの運営委託や、山陰海岸ジオパーク構成する３府県６市町との連携を図る。	国庫補助金
1-1-5	**ジオパーク関連施設のネットワーク化**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	観光振興課と情報共有しつつ、博物館同士での連携を図る。	国庫補助金
1-1-6	ジオツーリズムの推進	観光振興課	○	○	○	○	○	観光公社やガイド団体と連携し、ジオサイト周辺を舞台とするトレイルツアーを実施する。	市費
1-1-6	ジオツーリズムの推進	生涯学習課	○	○	○	○	○	市民大学や各地域公民館講座におけるジオパークを巡るウォーキング講座等の実施	市費

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
1-1-6	**ジオツーリズムの推進**	**文化財保存活用課**							市費
◆ 各地域の特色ある町並みの調査と保存									
1-2-1	**人と山の文化史の周知・展開**	**文化財保存活用課**			○	○		市内各地の団体の活動に協力することにより山城に関する周知広報を進める。	市費
1-2-2	自然環境保全事業	生活環境課	○	○	○	○	○	講師の説明を交え、自然豊かな本市の内山ブナ林を歩く「新緑のブナ林観察会」を、5月23日に実施する。	市費
1-2-3	移住促進･空家改修支援事業	地域コミュニティ・にぎわいづくり課	○	○	○	○	○	京丹後市移住相談窓口・空家相談窓口を設置運営し、移住や空家、二地域居住等に関する一体的な相談窓口業務や情報発信を行うほか、移住促進・空家改修支援事業費補助金等により、空家改修等を支援する。	府補助金、市費
1-2-4	**生業に関わる文化的景観調査**	**文化財保存活用課**							国庫補助金、市費
1-2-5	歴史的建造物の活用	観光振興課	○	○	○	○	○	地元のNPO団体に豪商稲葉本家の維持管理及び運営を委託し、活用を図る。	国庫補助金、市費
1-2-5	**歴史的建造物の活用**	**文化財保存活用課**						R9年度検討予定	国庫補助金、市費
◆ 農業・漁業など本市の特色ある生業を担う後継者の育成									
1-2-6	海・里・山に関わる生業等技術の継承	農業振興課	○			○	○	就農初期の経営基盤の確立を支援し、担い手の確保・定着を図る。	国庫補助金、市費
1-2-6	海・里・山に関わる生業等技術の継承	海業水産課	○	○	○	○		京都府漁業者育成校「海の民学舎」の運営経費分担金430千円	市費
1-2-6	**海・里・山に関わる生業等技術の継承**	**文化財保存活用課**							国庫補助金、市費
1-2-7	「里山文化案内人」の養成	観光振興課	○	○	○	○	○	観光公社、美食のまちづくり推進課と連携し、ヘルスツーリズムやフードツーリズムのガイド養成を行う。	市費
◆ 震災関連遺構の適切な保存・活用									
1-3-1	**丹後震災100周年の取り組み**	**文化財保存活用課**		○				令和9・10年度での郷村断層保存活用計画の策定を目指し、文化庁・京都府等と調整を進める。	国庫補助金、市費
1-3-1	丹後震災100周年の取り組み	観光振興課	○	○	○	○	○	ジオサイトの一つとして、市民等に向けた啓発を継続する。	国庫補助金、市費

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
1-3-1	丹後震災100周年の取り組み	総務防災課				○		防災関係機関等で組織する（仮称）丹後震災100年記念事業実行委員会に対し補助金（200万円）を交付し、防災・減災に向けた様々な取組を推進する。　○(仮称)丹後震災100年記念シンポジウム　基調講演、パネルディスカッション、遺構現地見学ツアー、起震車体験などを実施　○防災訓練、消防団火災想定訓練　○地域防災リーダー研修会　○丹後震災パネル展示　○震災100年記念冊子の作成・配付　○消防団への加入促進　など	国庫補助金、市費
1-3-2	**丹後震災記念館の保存・活用**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		伊藤快彦による震災画の修繕をR7年度で終了し、今後は郷土資料館での活用を図る。丹後震災記念館利活用検討委員会において活用方法の検討を行う。検討委員会：３回開催予定	国庫補助金、市費
◆ 災害の記憶を活用した防災教育の推進									
1-3-3	防災教育の推進	学校教育課	○	○	○	○	○	小学６年生対象の丹後学として「大地の学習」で、ハンドブックを活用した震災についての学習や郷村断層の見学を行う予定のほか、各小中学校においても避難訓練の際に地震・津波・火災等の学習を行う。	国庫補助金、市費
1-3-3	**防災教育の推進**	**文化財保存活用課**			○	○	○	震災記念展を実施し防災について考える契機とする。また小中学校や峰山以外の地域公民館でも展示を行う。	国庫補助金、市費
1-3-4	**離村等の所在調査及び記録の作成**	**文化財保存活用課**							国庫補助金、外部資金（大学研究費）、市費
◆ 2									
2	**戦争記憶の調査**	**文化財保存活用課**							市単費、大学
◆ 市域に広がる遺跡の計画的な調査・研究									
2-1-1	**市内遺跡の調査計画の作成**	**文化財保存活用課**							市費
2-1-2	**遺跡発掘調査等事業**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	開発事業について、事業者との連絡調整を十分図りながら必要な場合には発掘調査を実施する。	国庫補助金、府補助金、市費
◆ 遺跡を身近に感じることができるような整備・活用									
2-1-3	**網野銚子山古墳の整備、管理、活用**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	Ｒ７年度に史跡整備を完了し、今後は古墳フェスを開催するとともに、地域での活用の方法を検討する。	国庫補助金
2-1-3	網野銚子山古墳の整備、管理、活用	観光振興課	○	○	○	○	○	網野銚子山古墳の整備について、観光誘客の観点で検討委員会に参加し、整備後の観光分野での活用を図る。	国庫補助金

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
2-1-4	国指定史跡等に関する保存活用計画の作成	文化財保存活用課							国庫補助金
2-1-5	赤坂今井墳墓の整備	文化財保存活用課							国庫補助金
2-1-6	函石浜遺跡の整備	文化財保存活用課							国庫補助金
2-1-5	古代の里資料館管理運営事業	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	企画展示の開催（２回）や、小中学校の見学・夏休み体験イベントを実施する。	市費
2-1-6	史跡等の官民学連携活用	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	湯舟坂2号墳プロジェクトにおいて、官民学の連携を図りつつ、事業を実施する。	外部資金（大学研究費）
2-1-7	市所有重要文化財の収蔵・公開	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	「丹後湯舟坂二号墳出土品」の保存修理をR7年度に完了。修理後に丹後古代の里資料館での収蔵・公開を目指し、文化庁等関係機関と連絡調整を進める。	国庫補助金、市費
2-1-8	文化財関連マスコットキャラクターの活用	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	資料館イベントなどでキャラクター「はにえもん」の活用を図る。	市費
2-1-9	資料館、史跡等の多言語化への対応	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	資料館の多言語化について引き続き検討を行う。	国庫補助金、市費
2-1-10	資料館の地域連携	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	古代の里まつりと資料館まつりを実施する。	市費
2-1-11	古代の里園地の環境再整備、利用促進	文化財保存活用課							市費
2-1-12	史跡ツーリズムの推進	観光振興課	○	○	○	○	○	銚子山古墳へのアクセス環境の整備に伴い、観光公社と連携し、史跡ツーリズムの造成・発信を行う。	市費
2-1-12	史跡ツーリズムの推進	文化財保存活用課	○	○	○	○	○	観光公社等と連携し古墳ツアーの呼び込み、開催協力を行う。	市費
◆ 市内の伝説・伝承の分かりやすい発信									
2-2-1	「（仮称）京丹後の伝説・伝承」冊子の作成	文化財保存活用課							市費
2-2-1	「（仮称）京丹後の伝説・伝承」冊子の作成	観光振興課	○	○	○	○	○	文化財保存活用課が作成する「京丹後歴史文化めぐりマップ」を観光案内時やPR時に活用する。	市費
2-2-2	伝説・伝承ツーリズムの推進	観光振興課		○	○	○	○	文化財保存活用課が作成する「京丹後歴史文化めぐりマップ」を観光案内時やPR時に活用する。	市費
2-2-2	伝説・伝承ツーリズムの推進	文化財保存活用課		○	○	○	○	「京丹後歴史文化めぐりマップ」を活用し、伝説・伝承に関する「おすすめコース」を作成し、公開する。	市費

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
◆ 中近世の統治の歴史を身近に感じられる環境づくり									
2-3-1	久美浜の歴史的街並みの整備・保全	都市計画・建築住宅課	○	○	○	○	○	京丹後市住民協定景観形成条例第６条の規定による開発行為等の届出について、久美浜一区まちづくり協定の内容に適合しないと認めるときは、必要な指導・助言を行う。	市費
2-3-1	久美浜の歴史的街並みの整備・保全	観光振興課	○	○	○	○	○	久美浜一区の歴史的町並みの保全と活用を行う市民団体等の活動を支援する	市費
2-3-1	**久美浜の歴史的街並みの整備・保全**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	久美浜一区の歴史的町並みの保全と活用を行う市民団体等の活動を支援する。	市費
2-3-2	**お宝再発見（地域学）による観光等への応用**	**文化財保存活用課**		○	○	○	○	「京丹後歴史文化めぐりマップ」を活用し、「おすすめコース」にまち歩きにも活用できるコースを追加する。	国庫補助金、市費
◆ ものづくり文化のさらなる発信									
3-1-1	ものづくり体験ツーリズムの推進	商工振興課	○	○	○	○		地場産業である丹後ちりめん、機械金属業を中心としたモノづくりや、農業、宿泊施設など様々な現場を開放し、普段見ることができない現場や職人のワザ、こだわり、さらには受け入れる気持ちなどもオープンにする「地域一体型オープンファクトリー」を実施。	府補助金、市費
3-1-1	ものづくり体験ツーリズムの推進	観光振興課	○	○	○	○	○	観光公社又は海の京都ＤＭＯが進める「ものづくり体験ツーリズム」の造成支援を行う。	府補助金、市費
◆ 産業の観光活用									
3-1-1	ものづくり体験ツーリズムの推進	商工振興課	○	○	○	○		地場産業である丹後ちりめん、機械金属業を中心としたモノづくりや、農業、宿泊施設など様々な現場を開放し、普段見ることができない現場や職人のワザ、こだわり、さらには受け入れる気持ちなどもオープンにする「地域一体型オープンファクトリー」を実施。	府補助金、市費
3-1-1	ものづくり体験ツーリズムの推進	観光振興課	○	○	○	○	○	観光公社又は海の京都ＤＭＯが進める「ものづくり体験ツーリズム」の造成支援を行う。	府補助金、市費
◆ 丹後ちりめんに関する資料の整理と活用									
3-2-1	**郷土資料館管理運営事業**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○	○	企画展示の開催（２回）や、小中学校の見学・体験対応等を実施する。また、夏休みイベントを実施する。	市費
◆ 本市の宗教文化のさらなる解明に向けた調査・研究									
4-1-1	**山林寺院所在調査及び記録の作成**	**文化財保存活用課**	○	○	○	○		山林寺院等の調査を、大学研究費（大学教員の科学研究費等）を利用し、大学その他関連機関と連携しながら進める。	外部資金（大学研究費）、国庫補助金、市費

番号	事業名	主管課	R5	R6	R7	R8	R9	令和8年度の取組内容	財源
4-1-2	**石造物の悉皆調査**	**文化財保存活用課**							国庫補助金、市費
◆ 建造物や美術工芸品等の適切な維持管理									
4-1-3	**美術工芸品等の保存・修理への支援**	**文化財保存活用課**						R9年度以降検討予定	国庫補助金、府補助金、市費
◆ 祭礼・民俗芸能の記録保存の推進									
4-2-1	**祭礼・民俗芸能の把握調査及び映像記録の作成**	**文化財保存活用課**							国庫補助金、市費
4-2-1	祭礼・民俗芸能の把握調査及び映像記録の作成	生涯学習課	○	○	○	○	○	文化芸術推進団体が実施した地域の祭や伝統芸能等の記録・保存事業について、実施後の具体的な活用方法の検討	国庫補助金、市費
4-2-2	**市内の民俗行事調査**	**文化財保存活用課**							国庫補助金、市費
◆ 各地域の特色ある食文化の調査									
4-3-1	**食文化に関する調査**	**文化財保存活用課**							国庫補助金、市費
4-3-2	フードツーリズムの推進	健康推進課							市費
4-3-2	フードツーリズムの推進	観光振興課	○	○	○				市費
◆ 若年層への食育の推進									
4-3-3	食文化伝承推進事業	健康推進課	○	○	○	○		▶食文化伝承推進事業（25回開催予定）　市内の小中学校に食生活改善推進員が出向き郷土食の調理指導を実施する。	消費・安全対策交付金
4-3-3	食文化伝承推進事業	学校教育課							消費・安全対策交付金
4-3-4	食育伝達講習会	健康推進課	○	○	○	○		▶伝達講習会（10回開催予定）　各地域で市民を対象に食生活改善推進員が郷土食等の調理指導を実施する。	消費・安全対策交付金